

平成29年度各部の重点課題の取組結果

部名	にぎわい都市創造部
部長名	脇田 直行

【基本方針】

にぎわいのあるまちづくりのためには、まず、商工業や農業の振興が必要不可欠です。そのために、にぎわい都市創造部では市内事業所のニーズ等に応じた施策を進めていきます。また、農業振興につきましては、特に農業後継者や新規就農者の育成に力を入れ、農業の活性化と遊休農地の抑制を図ります。さらに、まちのにぎわいには“人”が重要です。そのためには現在の自治会活動を支援するとともに、より一層安全なまちづくりのため、防犯カメラの設置をはじめとした防犯対策を進めていきます。また、住みやすいまちづくりとともにより多くの人に本市の文化や歴史、特産物、自然、風土などを知っていただくため、積極的に市外へ飛び出し、他府県の自治体や民間企業とも連携しながら、さまざまなPR活動を行います。これらにより、一人でも多くの人に「ええとこやん、柏原」と感じていただき、本市を訪れ、また、住んでいただけるような施策に取り組んでいきます。

(平成29年8月1日から「市民部」と統合)

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	農業・商業・工業等の産業振興	A
2	防犯カメラ設置の推進	A
3	自治会活動の支援の強化	A
4	若者の移住・定住化の促進	B
5	地域資源の活用による交流人口の増加	C

部名	にぎわい都市創造部
----	-----------

重点課題 1	農業・商業・工業等の産業振興
--------	----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者を中心に新規就農者の育成を図ります。 ・地元農産物などの知名度アップを図ります。 ・商工業者の新規顧客の獲得や販路拡大を図ります。 ・消費生活相談体制の強化を図ります。
---------------------	---

活動目標
【農業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう担い手塾を開講 ・新規就農者又は農業後継者の経営改善のための支援 ・市外での地元農産物等のPR
【商工業】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所情報サイト「柏原・まち・ひと・しごとnet」の充実とサイトの周知を図り掲載事業所数を増やします。 ・市内の空き店舗を活用する新規出店者を増やします。 ・消費生活センターを設置し、より相談しやすい環境づくりと啓発の強化に努めます。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう栽培を本格的に始めようとする方などを対象に、遊休農地を活用して「ぶどう担い手塾」を開講しました。 ・新規就農者への所得支援を行い、農業後継者の経営改善を図るための農業機材・資材購入費を4人に補助しました。 ・商工会や農業啓発推進協議会などと連携し、地元農産物を使った新メニュー開発のため食品関係者を募集し、開発された商品は、市広報誌を通じてPRしました。
<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市事業所情報サイトへの地図情報の掲載を行いました。また登録業者数を増やすため登録の勧奨を行い、40事業者が新規登録し、登録数が530件となりました。 ・空き店舗を使って出店する事業者に補助金を交付し、市内で2店舗の新規出店を促し、商業の活性化を図りました。 ・消費生活センターを設置し、週4日の相談体制を確保し、相談しやすい環境が作れました。

達成目標
市民意識調査の「農業」満足度を前回数値より高めます。
市民意識調査の「商業・工業」満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
・柏原産農産物の積極的なPR活動などにより、満足度は前回3.04から今回3.16へと上昇しました。	A 達成
・商業の満足度は、前回2.62から今回2.75へ、工業の満足度は2.75から2.90へと上昇しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>農業については、主力農産物であるぶどう栽培を中心に支援を行っています。柏原ぶどうのブランド化を図るため、農業推進啓発協議会によるPR活動を増加させました。一方、商業・工業についても柏原市事業所情報サイトを充実させました。</p>

部名	にぎわい都市創造部
----	-----------

重点課題 2	防犯カメラ設置の推進
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域の身近な通勤通学路等については町会への補助制度により、主要幹線道路など広域的な防犯環境の整備や市外からの犯罪流入阻止に効果的な箇所については、市主体により防犯カメラ設置することで、安全安心なまちづくりを目指します。
---------------------	---

活動目標
警察の協力を得ながら、市が主体となり、市内8カ所に防犯カメラを設置します。

具体的な取組実績
防犯カメラの設置については、町会への補助制度を推進するとともに、市主体により主要道路への設置する安全対策推進防犯カメラ設置事業を併行して実施しました。警察と密に連携を図りながら、本市の防犯環境の強化や犯罪の抑止に効果的な地点8カ所を決定し、設置業者についても選定済みであり、3月中に全地点の設置が完了しました。

達成目標
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
防犯カメラの設置を推進したことなどにより、満足度は前回3.03から今回3.06に上昇しました。	A 達成

総合評価・総括
防犯カメラ設置補助制度の最終目標設置台数100台（5か年）に対し、本年度末で69台が設置されました。引き続き最終目標台数に向けて設置を進めていきます。また、平成28年度に引き続き、本市全域の防犯環境の整備や市外からの犯罪流入阻止を目的として、市内の国道・府道の信号柱等に市主体で防犯カメラを設置する、安全対策推進防犯カメラ設置事業を実施し、防犯対策に関する市民満足度の向上に努めました。

部名	にぎわい都市創造部
----	-----------

重点課題 3	自治会活動の支援の強化
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	環境、安全安心、福祉など様々な公益活動を実施している自治会を直接支援することで、地域の活性化や協働の推進を図ります。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
市内自治会の公益的活動に要する経費に対し、直接補助する制度を開始します。	自治会が実施している、環境美化や防犯・防災活動など公益性の高い事業に要する費用への補助制度を開始し、要綱策定のうえ各区長への説明会を5回にわたり開催。114町会のうち105町会に交付決定済みです。

達成目標	達成状況	達成度
市民意識調査の「コミュニティ活動」満足度を前回数値より高めます。	町会活動推進補助金の創設などにより、満足度は前回2.93から今回3.11へと上昇しました。	A 達成

総合評価・総括
従来、自治会への支援については、自治会の代表である区長の連合組織である区長会の補助金から、各単位自治会へ一律の額を助成する形で行われていました。本年度からより透明性が高く、市民に説明しやすい制度として、公益活動に要する費用を直接自治会へ補助する制度を開始しました。114自治会のうち105団体について交付決定し、地域清掃や防災活動などに活用いただいたことで、コミュニティ活動の活性化や協働の推進を図ることができました。

部名	にぎわい都市創造部
----	-----------

重点課題 4	若者の移住・定住化の促進
--------	--------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の女性等の雇用創出を図ります。 若い世代の転入増加、転出抑制を図ります。
---------------------	--

活動目標
<ul style="list-style-type: none"> ハローワークとの一体的事業を進めることにより、子育て中の母親に就業を促します。 子育て中の母親に対し民間活力を利用した働き場を創出します。
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代を対象とした支援を行うことにより、移住・定住化を促進します。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> 今年度よりハローワークとの一体的事業を実施しています。ほっとステーションに来ているお母さん方に就労関係の情報を提供しています。 勤労者センターの一部を使用して母親労働拠点を創出し、子育て中の母親の就労が増加しました。
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代を対象に中古住宅取得補助制度を構築しました。

達成目標
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の人口増加を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> 雇用の創出による経済効果が見込めます。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 中古住宅取得補助の申し込みはなく、この制度による人口増加はありません。 	D 未達成
<ul style="list-style-type: none"> 母親労働拠点の創出により、子育て中の母親の就労が増加し、所得向上等による経済効果をもたらしました。 	A 達成

総合評価・総括
<p>勤労者センターに母親労働拠点を整備しました。平成29年度は実証事業を実施し、30年度からは母親労働拠点を使った株式会社ママスクエアによる営業が開始されます。</p>

部名	にぎわい都市創造部
----	-----------

重点課題 5	地域資源の活用による交流人口の増加
--------	-------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
柏原市、香芝市、王寺町、三郷町の2市2町による広域観光ルートの整備に向けた準備を進めます。

具体的な取組実績
平成28年度に設立した「2市2町広域観光ルート整備推進協議会」により、観光ルートの構築、合同プロモーション作業にあたりました。平成32年度までの5か年で整備を想定しており、平成29年度は広域観光ルート事業実施計画の策定、プロモーション方策の検討が行われました。また、市内に3カ所設置予定の万葉歌碑を1基竜田古道里山公園内に設置しました。

達成目標
エリア全体の価値を高めることにより、柏原市の魅力や認知度を高め、多くの方が訪れるにぎわいのあるまちを目指します。

達成状況	達成度
平成32年度までの5か年をかけての目標であるため一部達成としました。	C
	一部達成

総合評価・総括
2市2町での担当者会議を月1回、首長が出席する会議を年1回実施しました。概ね当初の計画通り進捗しています。